

誰もが楽しくのびのびと働ける企業を目指して

株式会社出田建設・下元修さん

北海道有珠郡壮瞥町で、土木・建設工事業全般および清掃業を営む株式会社出田建設は、創業から 100 年を超える歴史のなかで、地域の発展に貢献してきました。壮瞥町の魅力や外部人材の活用について代表取締役の下元修さんにお話を伺いました。

■企業内容について教えてください。

大正 8 年に旭川で創業し、国鉄（旧・日本国有鉄道）の仕事がきっかけで昭和 12 年に現在の壮瞥町に移転しました。当時は、鉄道関係の仕事を主に行っていましたが、昭和 61 年に胆振線が廃止になり、現在は土木工事や外構工事、冬は除雪の仕事などを幅広く行っています。メインは建設業ですが、ごみ収集や不用品整理などの清掃業も行っています。

■壮瞥町はどのようなまちですか？

壮瞥町は支笏洞爺国立公園内にある町で、主な産業は農業と観光です。昭和新山や洞爺湖、そこに浮かぶ中島などの美しい風景が楽しめますし、風光明媚でとても良いところだと思います。洞爺湖はやさしく洗練された雰囲気があり、湖の周りを一周できるように歩道も整備されていますし、夏になると毎日花火があがるので贅沢です。ただ、過疎化・高齢化が進んでいて、人材確保は年々難しくなっていますね。壮瞥町は都会とは違うので、色々な面で難しいと思います。

■御社でも人材不足は感じていますか？

今いるスタッフだけではこなせる仕事にも限界がありますし、人材不足は感じています。更には、これから先は人材確保ももっと難しくなるとも思っています。日本政策金融公庫からの紹介で副業人材活用に関するセミナーに参加したのも、何か課題解決のヒントになれば良いと思ったからです。

■セミナーに参加した感想はいかがでしたか？

都会の高スキルの人材が、地方の企業の支援をしてくれるというのはとても良い制度だと思いました。一方で以前、札幌の人材派遣会社経由で人材を採用したことがあるのですが、定着しなかった経緯もあるので、土地勘のない都会の人が、本当に地方の中小企業に来てくれるんだろうかという思いもあります。結局は人次第なのかな、とも思いましたね。

■自社での検討状況はいかがでしょう？

人材確保だけでなく、自社の営業力強化、新規事業に対する検討など、色んな面で活用ができそうだと思います。ただ、何を最優先するかとなると、まだ具体的な考えは思い浮かばず、活用事例を見せてもらいながら、弊社に合った依頼をしたいと検討を進めています。

■今後、どのような会社を目指していますか？

いいことも、悪いことも、自分の意見をはっきりと発言できる、みんなが楽しくのびのびと働ける会社になりたいと思います。世の中の状況は刻々と変化していますから、会社としてもそれに対応していかなければならない。そのために頑張ってくれる人がいれば、どんな経歴の人材であっても受け入れて、一緒に良い会社を作っていきたいと思っています。

【企業 HP】 <https://detakensetu.com/>